

実施日	令和3年12月1日	担当	長崎労働基準監督署
保健衛生業における労働災害防止の周知を行いました。			
<p>長崎労働基準監督署（署長 渡邊 正）では、保健衛生業における労働災害の防止を図るため、長崎市及び当署管内の社会福祉協議会に対し、腰痛予防動画サイト及び高齢者の安全衛生管理 WEB セミナー等にかかる案内を行いました。</p> <p>1. 労働災害の発生状況について</p> <p>当署管内の休業4日以上死傷者数は、10月末現在で556人となっており、これは前年同期と比較して53人（+10.5%）増加しています。特に、保健衛生業においては、10月末現在で168人と前年同期と比べ65人と大幅（+22.1%）に増加しており、慌ただしくなる年末年始は更なる労働災害の増加が懸念されるところで</p> <p>2. 保健衛生業における労働災害防止の周知について</p> <p>当署管内では、保健衛生業の労働災害の多くを占めている「腰痛災害」や「転倒災害」の防止を図るため、長崎市及び当署管内の社会福祉協議会に対し、腰痛予防動画サイト及び高齢者の安全衛生管理 WEB セミナー等についての案内（別添）を行いました。</p> <p>長崎労働基準監督署では、引き続き労働災害撲滅に向けた取組を積極的に行ってまいります。</p>			

事業主の皆様へ

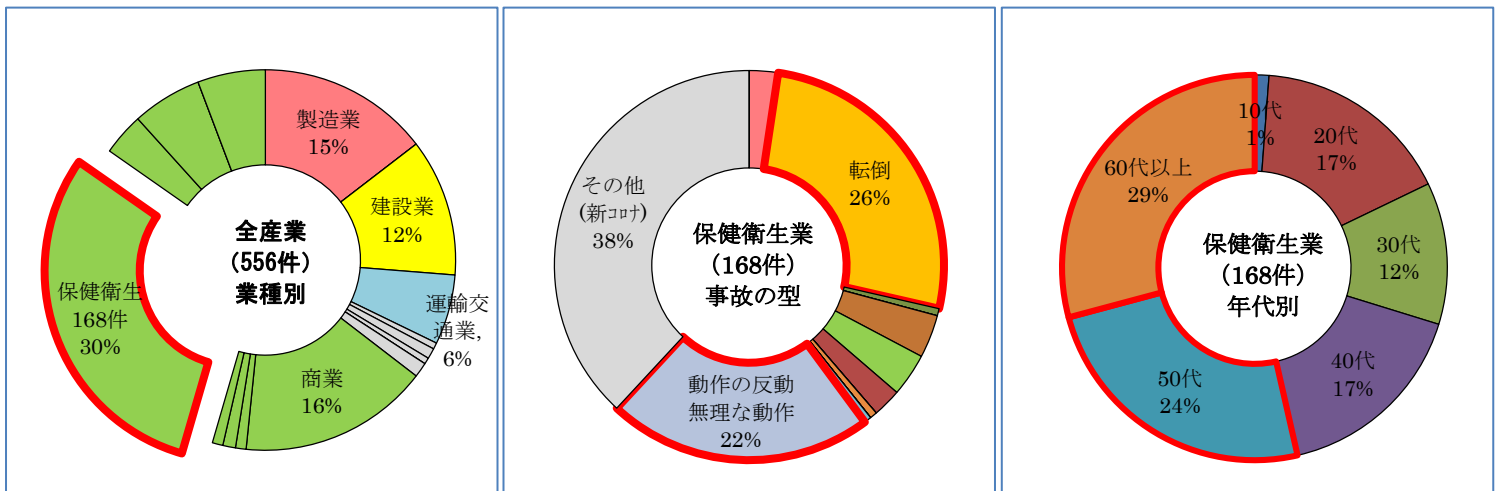
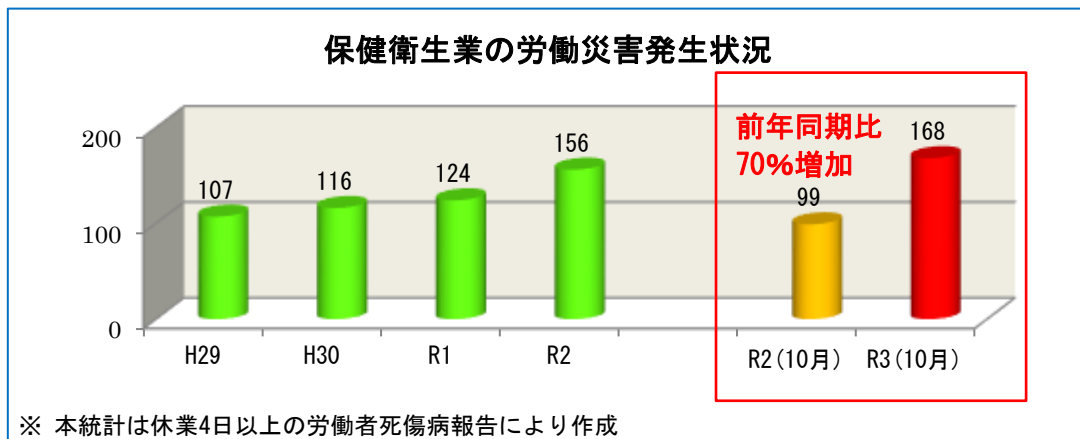
長崎労働基準監督署

## 保健衛生業の労働災害防止について

平素は労働災害の防止にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、保健衛生業の労働災害は全国的にも増加しており、また、長崎労働基準監督署においても前年同期と比較して70%増加し、当署管内の労働災害の30%を占めています。

保健衛生業の労働災害を「事故の型」で見ると「転倒災害」及び「腰痛災害」が多く発生しており、厚生労働省では、これらの労働災害の防止にかかる動画サイトの開設やWEBセミナーを開催しておりますので、職員研修や定例の会議（安全衛生委員会等）などでご活用頂きますようお願い致します。



令和三年度厚生労働省委託事業

# 保健衛生業向け 腰痛予防動画サイトへ ようこそ

～職場における腰痛予防対策指針に準拠～

「職場における腰痛予防対策指針」の普及促進を目的としたWEBサイトを、保健衛生業を対象に開設いたしました。業務による腰痛災害のうち、3割以上が保健衛生業で発生しています。介護機器等導入時や職員研修で参考にしましょう。

## 公開期間

令和3年10月10日(日)  
～令和4年3月末

## URL

<https://yotsu-yobo.com>



QRコードからも  
アクセスできます

## WEBサイトの特長

- テーマ別に分かれており、関心のあるものを選んで視聴できます。
- スマートフォンやタブレットからも気軽に動画を視聴できます。
- 介護の現場で、腰痛をなくするための実務的な工夫を紹介します。
- 作業者向けの基本事項と、管理者向けの応用編の2部構成です。
- 職場研修に向け、資料をダウンロードできます。



## WEBサイトの概要

今後、社会的役割の拡大が見込まれる保健衛生業の現場において腰痛予防対策が重要な課題となっています。そこで「職場における腰痛予防対策指針」の普及促進を目的としたWEBサイトを保健衛生業を対象に開設しました。腰痛予防に役立つ知識やスキルの習得に是非ご活用ください。

動画で得た知識を職場で活用してみてください！



## 動画の内容

- 保健衛生業での腰痛災害
- 抱上げに代わる介護機器の実際
- 腰痛の原因と対策の方向性
- 介護機器導入に関する情報など
- 作業場面ごとの適切な作業方法

※ 腰痛予防の動画は作業者向けの基本事項と、管理者向けの応用編の2部構成となっていますが、管理者の方も、まずは作業者向けの動画をご覧ください。

### — 無料で資料がもらえます —

動画を視聴してアンケートに答えると、関係資料がダウンロードできます。



WEBサイトへは  
こちらのURLまたは  
QRコードから

<https://yotsu-yobo.com>



お問い合わせ

株式会社 平プロモート（腰痛予防対策事務局）  
〒471-0867 愛知県豊田市常磐町 1-88  
MAIL: yotsu-yobo@tairapromote.co.jp

協力

一般社団法人日本ノーリフト協会  
一般社団法人ナチュラルハートフルケアネットワーク  
移動・移乗技術研究会





小売業、飲食店、社会福祉施設の安全管理担当者さまへ

# 小売業・飲食店・社会福祉施設のための 安全推進者養成講習 開催のご案内

—— 小売業、飲食店、社会福祉施設等の職場を安全に ——

第三次産業における労働災害の割合は増加傾向にあり、従業員の安全対策が強く求められています。

この講習は第三次産業のうち安全管理者や安全衛生推進者の選任が義務付けられていない、小売業、飲食店、社会福祉施設等での安全管理を進めていただくご担当者「安全推進者」を養成する講習です。

小売業・飲食店・社会福祉施設にお勤めでない方の参加も歓迎いたします。

📢 新型コロナウイルス感染防止の観点により、  
WEB講習会の開催

📢 受講料・テキスト費**無料** テキストは郵送します

📢 講習会受講者には後日受講修了証を**発行**

日程・時間

裏面に記載

内容

- 1 安全管理
- 2 リスクアセスメント等
- 3 安全教育
- 4 安全関係法令

対象

- ①将来的に、安全推進者またはこれに類する職務に就任することが見込まれる者
- ②現に、事業場における安全担当者である安全推進者として配置されている者

お問い合わせ・お申込み先



<https://anzenanshin.mhlw.go.jp/>



# ご自宅・職場のパソコン・ スマートフォンから 参加可能！

お申込み・詳細は Web  
<https://anzenanshin.mhlw.go.jp/>



## 開催日程

開催日	開催時間	申込締切
11月18日(木)	14:00~17:00	11月 8日(月)
11月26日(金)	14:00~17:00	11月15日(月)
12月 3日(金)	14:00~17:00	11月22日(月)
12月 9日(木)	14:00~17:00	11月29日(月)
12月17日(金)	14:00~17:00	12月 7日(火)
12月23日(木)	14:00~17:00	12月13日(月)
1月 6日(木)	14:00~17:00	12月21日(火)
1月14日(金)	14:00~17:00	12月28日(火)
1月20日(木)	14:00~17:00	1月 7日(金)
1月28日(金)	14:00~17:00	1月18日(火)

各日程定員50名(先着順)

## お申込みからWEB受講の流れ

- 1 ホームページよりお申込み  
お申込みには以下の情報が必要となります。  
●申込者氏名 ●テキスト送付先住所 ●電話番号 ●役職名 ●E-mailアドレス ●事業場名
- 2 開催 1 週間前を目途に案内のメールを受信
- 3 開催 3 日前を目途にテキストと受講の案内をお受け取り(郵送)
- 4 開催当日、案内のメールに記載されたURLより講習会のページへアクセス
- 5 講習会の参加
- 6 講習会終了後、後日修了証をお受け取り(郵送)

### 《注意事項》

講習会への参加はインターネット環境が必要となります。  
講習会の視聴はZOOMアプリインストールが推奨されます。  
ZOOMアプリがインストールされていない場合でも一部ブラウザでの参加が可能ですが、一部機能が使用できない場合がございます。

講習会のお申込みはHPで受付しております。

<https://anzenanshin.mhlw.go.jp/>



# 働く高齢者の安全と健康確保のためのWEB講習

# 働く高齢者のための

# 安全衛生管理WEBセミナーのご案内

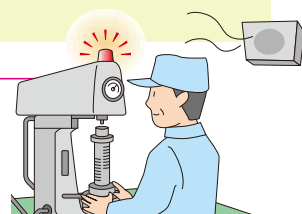
受講料  
講習テキスト  
無料

人生100年時代を迎え、高齢者から若者まですべての人々が元気で活躍でき、安心して暮らせる社会づくりが求められています。一方で、近年、高齢労働者の労働災害は増加傾向にあり、高齢労働者特有の加齢に伴う心身機能の低下を踏まえた労働災害防止対策が必要とされています。このため、厚生労働省では令和2年3月にエイジフレンドリーガイドラインを策定し、高齢労働者が安心して安全に働ける職場環境の実現に向け、事業主や人事労務担当者による取組が求められる事項を取りまとめました。

本セミナーでは、高齢労働者の労働災害の状況、ガイドラインの理解の促進のための解説、具体的な企業の取組事例などをわかりやすく解説します。

## 受講対象者

- ① 高齢労働者を雇用する事業場の経営トップ、安全衛生担当者等
- ② 高齢労働者の雇用を予定している事業場の経営トップ、安全衛生担当者等



## セミナーカリキュラム

※視聴時間 2時間

### 1. 高齢労働者の労働災害の状況…30分

- ・高齢者の労働災害発生状況と対策
- ・高齢労働者の身体機能や健康の状況

### 2. 安全で安心な職場環境をつくるための知識…60分

- ・エイジフレンドリーガイドラインの解説
- ・今日から取り組む具体的な対策

### 3. 先進的な取組事例等の紹介…30分

- ・安全衛生に係る先進的な取組等を実施している企業事例の紹介
- ※令和2年度 高齢労働者安全衛生対策実証等事業(選定5事例)

## Webセミナー視聴期間

### [2021年開催]

- 第1回 9月6日(月)～12日(日)
- 第2回 9月20日(月)～26日(日)
- 第3回 10月4日(月)～10日(日)
- 第4回 10月11日(月)～17日(日)
- 第5回 10月18日(月)～24日(日)
- 第6回 11月1日(月)～7日(日)
- 第7回 11月15日(月)～21日(日)
- 第8回 11月29日(月)～12月5日(日)
- 第9回 12月13日(月)～19日(日)

### [2022年開催]

- 第10回 1月10日(月)～16日(日)

※視聴期間は、それぞれ7日間です。  
※ログインは、開始日の9:00から、受け付けます。

## 講師

小林 繁男 氏 (小林労働安全衛生コンサルタント事務所)  
労働安全コンサルタント、労働衛生コンサルタント  
元奈良労働局長

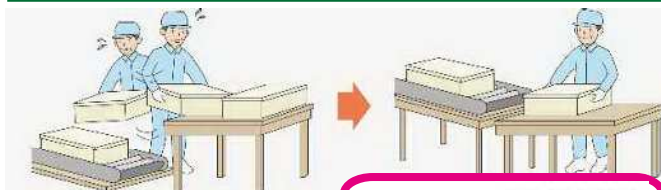
## Webセミナーの申込方法

- ①専用サイト申込フォームよりお申込みください。  
※視聴用のIDはお申込者のメールアドレスになります。1つのメールアドレスで複数の方のお申込みはできませんのでご注意ください。
- ②専用サイトURL→<https://age-friendly.chosakai.ne.jp>  
※右記QRコード(申込みフォームが開きます)
- ③お申込み後、自動返信メールでIDとパスワードを送付します。  
※受講日まで保管してください。
- ④視聴日の10日前位までに専用テキスト等をご郵送いたします。

## お申込先

(株) 労働調査会 働く高齢者セミナー事業部  
〒170-0004 東京都豊島区北大塚2-4-5 TEL.03-3915-7221  
E-Mail [kounenre2@chosakai.co.jp](mailto:kounenre2@chosakai.co.jp) <https://age-friendly.chosakai.ne.jp/>

QRコード





# 安全で安心な

## 店舗・施設づくり推進運動

厚生労働省と中央労働災害防止協会では、小売業、飲食店及び社会福祉施設において増加している労働災害の減少を図るため、「安全で安心な店舗・施設づくり推進運動」を展開しています。

### 小売業、飲食店、社会福祉施設の労働災害発生状況

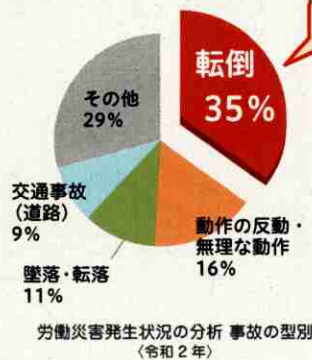
出典 厚生労働省「令和2年労働災害発生状況」より

#### 小売業

4.6%増



労働災害は急増中



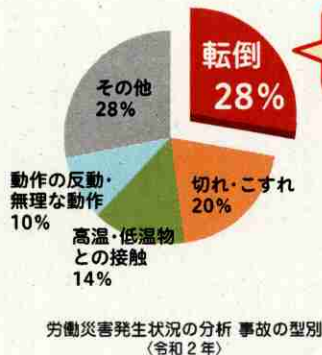
転倒災害が多い



#### 飲食店



労働災害は増加傾向(死傷年千人率)



転倒のほか調理中の切創、火傷が多い

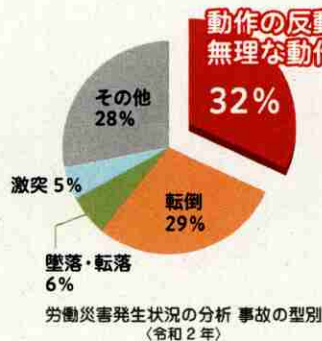


#### 社会福祉施設

32%増



労働災害は急増中



動作の反動・無理な動作(腰痛)と転倒が多い



### 「安全で安心な店舗・施設づくり推進運動」特設サイト

**JISHA 中災防**  
Japan Industry Safety & Health Association

厚生労働省

<https://anzeninfo.mhlw.go.jp/information/sanjisangyo.html>

中央労働災害防止協会

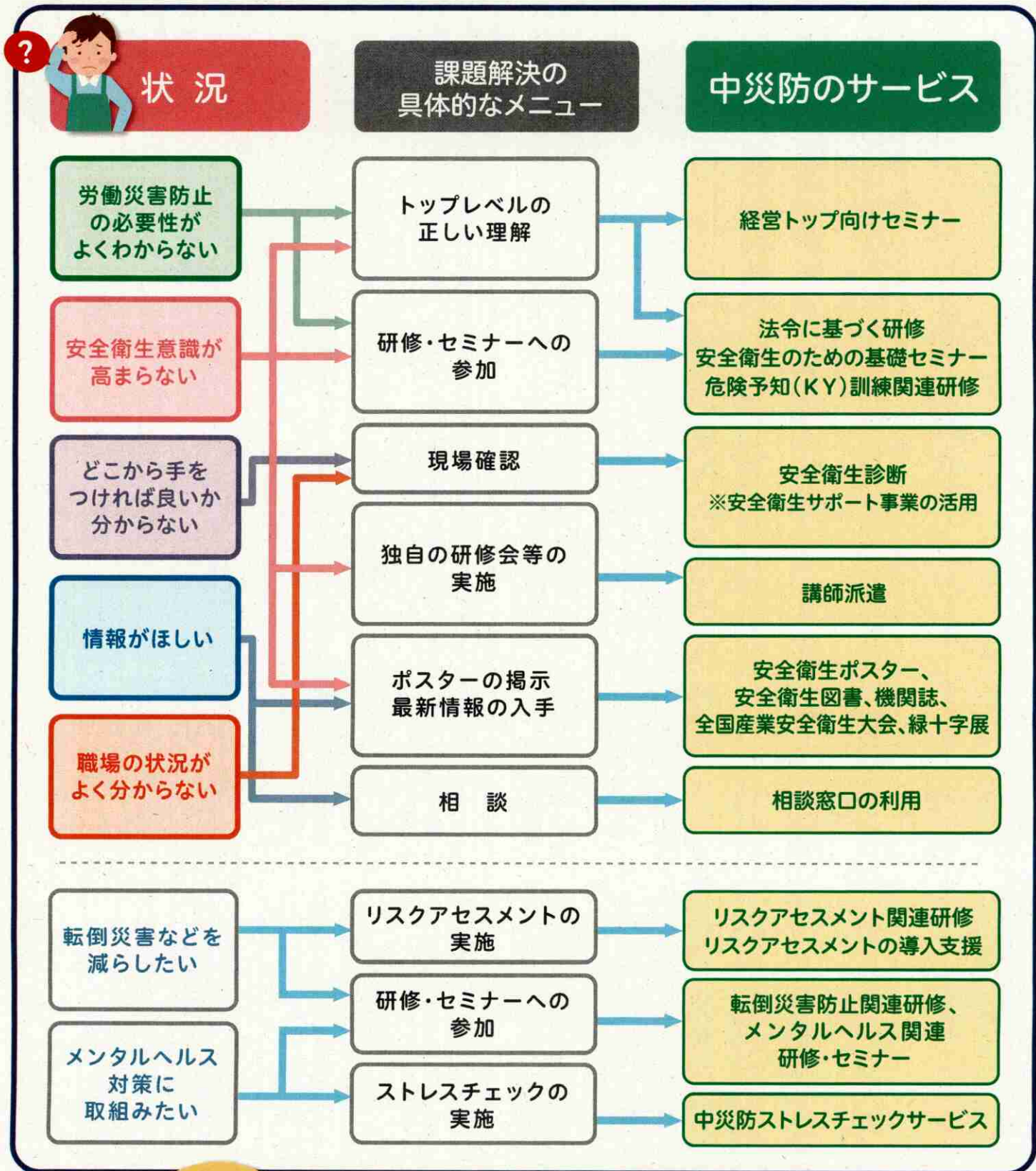
[https://www.jisha.or.jp/campaign/tenpo\\_shisetsu/index.html](https://www.jisha.or.jp/campaign/tenpo_shisetsu/index.html)

チェックしてね!





中災防では、小売業、飲食店及び社会福祉施設の労働災害防止に役立つ様々なサービスを提供しています。職場の安全衛生のお悩み、課題解決のために中災防のサービスをぜひご活用ください。

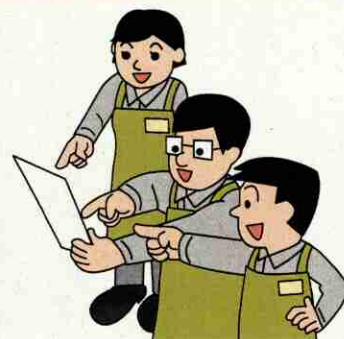


課題解決のポイント

例えば

不安全な行動などがあった場合、

**5W1H** を活用する



KY研修



## 経営トップ、上級管理者等にお勧めのセミナー

### 安全衛生トップセミナー

事業場のトップ層を対象に、必要な安全衛生知識のほか経営トップとして変化に対応できる幅広い知識、見識について講演、情報交換(異業種の情報を得ることができ好評です)を交えて学びます。(年2回開催)

### ゼロ災害全員参加運動トップセミナー

労働災害ゼロを目指すためには、確固たる理念に基づき体制を整え、具体的な手法を用いて職場の小集団活動を活発化する「ゼロ災害全員参加運動」が有効です。セミナーでは、経営トップ層が理解すべき理念、手法、実践方法を講義・実技・討議・事例紹介を通して学びます。

## 危険予知(KY)訓練関連研修

### 危険予知(KY)活動研修会 (1日・2日・3日間コース)

個々の危険に対する感受性を高め、職場の仲間と問題解決する各種KY手法を学び、安全・健康・快適な職場風土づくりをめざします。

### 指差し呼称の定着研修会

危険な箇所などでは「確認」することが災害防止には重要です。研修では、指差し呼称の定着に向けた取組方法を学びます。

### ※中小規模事業場安全衛生サポート事業

第三次産業の施設・店舗の関係者が集まる機会での教育や講演、個別の施設・店舗への専門家派遣による**安全チェックを無料**で行うことができます。

無料



## 腰痛予防、転倒災害防止関連

### 転倒災害防止のための 体力チェック活用セミナー

転倒リスクに関する意識調査と身体機能測定によって自分自身の現状に気づき、運動能力等身体機能低下を防ぐためのエクササイズが体験できます。

### 転倒予防・腰痛予防の派遣研修

転倒や腰痛を防止するための設備対策や作業方法改善のノウハウ、転倒しにくい、腰痛になりにくい体づくりのポイントについて学びます。オリジナルの研修(座学・実技)内容について事前にお打合せをし、皆様の事業場にお伺いして実施します。

## メンタルヘルス関連研修・セミナー、中災防ストレスチェックサービス

### メンタルヘルス対策に活かす 職場環境改善のすすめ方セミナー

職場のストレスの評価から職場環境改善(働きやすい職場づくり)の展開方法について、チェックリスト等のツールを使いながら学びます。職場で実行性の高い改善計画を作成する上で有効です。

### 中災防ストレスチェックサービス (ヘルスアドバイスサービス)

働く人の心とからだのセルフケアに！  
職場のメンタルヘルス対策に！  
従業員の方が記入した質問形式のチェックシートを送付いただき、個人レポート及びグループごとの集計結果を返却し、セルフケア、ラインケア、職場環境改善に活用できます。

## 安全衛生の技術専門家の派遣サービス

### 「職場の安全衛生診断と改善指導」

- ・安全衛生の知識・経験が豊富な専門家が施設・店舗を訪問し、確認、アドバイスをを行います。
- ① 事業場概要や安全衛生管理状況の確認
- ② 現場確認(機械設備や作業方法などの問題点を明らかにし、改善アドバイスを実施)
- ③ 診断結果の講評と、後日に報告書を提出

### 「企業内安全衛生教育・講演会への講師派遣」

- ・数多くの企業内安全衛生教育で培ったノウハウをもとに、オーダーメイドの研修会を企画・提案します。
- ・各種の教育訓練・講演会への講師派遣も行っています。



# 中災防の図書・用品のご案内



## 介護・看護職場の安全と健康ガイドブック

中央労働災害防止協会編 滋賀医科大学 社会学部 医学講座衛生学部門 准教授 埜田和史 監修  
B5判/132頁/1色刷/NO.27401

定価1,210円(本体1,100円+税10%)

社会福祉施設などで働く人々自身が、健康で安全に働き続けることができれば、利用者への安定したサービスを提供することはできない。介護、看護作業により、腰痛になったり、ケガをしたり、病気になるために、施設の事業者や働く人々がどうすればよいか、その取り組みポイントを紹介。衛生推進者養成研修テキストとしても活用できる。



## 小売業で働く人の安全・健康心得帳

中央労働災害防止協会編  
125mm×85mm/20頁/4色刷/NO.21578

定価220円(本体200円+税10%)

小売業は楽しい! 働きがいがある! 小売業で働く人の基本的な心得から、日々の作業(品出し、レジ打ち、店舗装飾等)を安全に行い、健康に働き続けるためのポイントをまとめた小冊子。



## すぐに実践シリーズ こうすれば安全! ロールボックスパレット使用作業

中央労働災害防止協会編  
A5判/16頁/4色刷/NO.24098

定価275円(本体250円+税10%)

ロールボックスパレット(かご台車)による災害事例をもとに、どこが危ないのか、どうすれば災害を防ぐことができるかをイラストとともに、作業向けにわかりやすく解説。



## 4Sプラス1s ~職場改善・リスク発見力アップの実践書~

中央労働災害防止協会編  
B5判/80頁/2色刷/NO.27133

定価682円(本体620円+税10%)

オフィス、店舗(売り場、バックヤード)、倉庫、製造現場ごとに、4Sの実践方法についてイラストを豊富に用いて紹介します。また、4Sの効果をより高めるための、「しつけ」「習慣」「親切」など、5番目のSについてもポイントを紹介。



## 飲食店のための安全・健康12カ月

中央労働災害防止協会編  
B5判/32頁/4色刷/NO.27136

定価770円(本体700円+税10%)

飲食店で安全に働くポイントを、四季にあわせてまとめた月めくり。今月のチェックポイント記入欄や「お客様の安全」についてのコメントも掲載。転倒防止、衛生管理のチェックリスト付。



## こうしてつくる! 小売業の安全・健康職場

中央労働災害防止協会編  
B5判/64頁/2色刷/NO.25258

定価880円(本体800円+税10%)

店舗における労働災害とその対策など、安全、健康に働ける店舗づくりのために小売業店舗の店長、管理者、ラインの長などが知っておくべきこと、実施すべきことをイラストを交えわかりやすく解説。「店舗での安全衛生チェックリスト」も収録。



## 「すべった」「ころんだ」防止の決め手! あなたが減らす転倒リスク

中央労働災害防止協会編  
B5判/28頁/4色刷/NO.25267

定価495円(本体450円+税10%)

「転倒」を生活習慣型の災害ととらえ、転倒予防のための、歩き方(フォーム)、靴の選択、転倒要因を予測した歩行、冬季・女性特有の転倒リスクの注意点、足腰の筋力・平衡感覚の維持、体調管理等について、イラスト・写真でわかりやすく解説。



## ポスター 腰痛予防・動作

コート紙/B2判(728mm×515mm)  
NO.31824

定価275円(本体250円+税10%)

「安全衛生」の基本をわかりやすく標語にしています。

【標語】プラス1動作で腰痛予防

## 中災防 安全衛生サービスセンターをご利用ください

北海道安全衛生サービスセンター (TEL 011-512-2031)  
東北安全衛生サービスセンター (TEL 022-261-2821)  
関東安全衛生サービスセンター (TEL 03-5484-6701)  
中部安全衛生サービスセンター (TEL 052-682-1731)  
同 北陸支所 (TEL 076-441-6420)

近畿安全衛生サービスセンター (TEL 06-6448-3450)  
大阪労働衛生総合センター (TEL 06-6448-3464)  
中国四国安全衛生サービスセンター (TEL 082-238-4707)  
同 四国支所 (TEL 087-861-8999)  
九州安全衛生サービスセンター (TEL 092-437-1664)

## 中央労働災害防止協会

〒108-0014 東京都港区芝5-35-2 安全衛生総合会館 03-3452-6841(代表) <https://www.jisha.or.jp/>

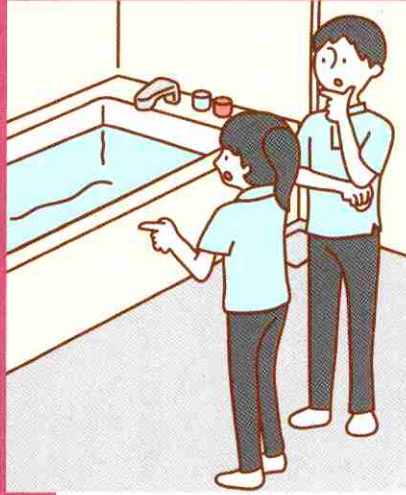


労働災害の原因を

取り除く。

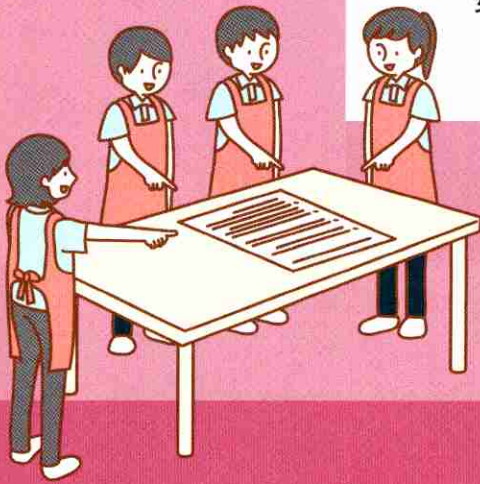
見つける。

潜んでいる危険を



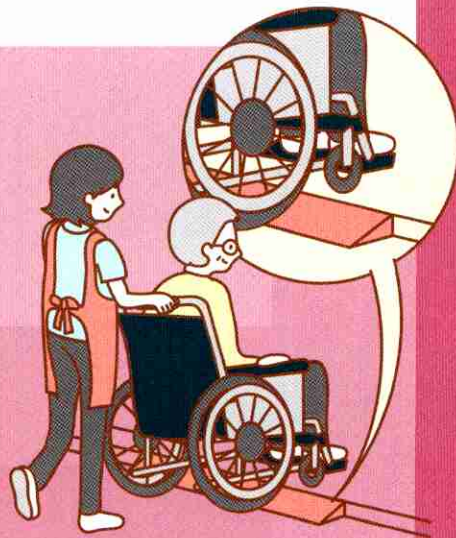
社会福祉施設の  
安全・安心  
高めめる  
Book

安全で安心な店舗・施設づくり推進運動



危険を全員で

共有する。



より安全な  
作業方法を考えるなど

工夫する。



職場での労働災害を防ぐために！

安全で安心な店舗・施設づくり

推 進 運 動

## 安全・安心な労働環境を実現するために。

小売業、社会福祉施設、飲食店における労働災害が近年増加しています。中でも、転倒災害・腰痛災害などの行動災害は特に多く、各職場では、これらを防ぐための取り組みが十分に行われていないのが現状です。

災害のない職場づくりは、労働者はもちろん、施設利用者や消費者の安全にも役立ちますし、人材確保にもつながります。

労働災害を防ぐためには、まずは経営トップの参画の下、店舗・施設の取り組みを本社・本部がきちんとサポートするという、全社的な安全衛生活動を展開する必要があります。また、職場で働く方一人ひとりの意識づくりも大切です。

本運動は、安全・安心な労働環境実現の取り組みを促進し、労働災害を減少させることを目的としています。

経営者の  
みなさまへ

従業員の健康や安全を守る「安全配慮義務」は、企業経営の基本です。労働災害が発生し、安全への配慮が十分でないと損害賠償の責任が生じたり、従業員の離職や、やりがいの低下につながったりします。また、深刻な労働災害が発生すると、社会的な評価が低下するおそれがあります。

## チェックリスト

労働災害を防ぐためのリストを店舗・施設用と本社・本部用に用意しています。

例えば、このようなチェック項目があります。

### 店舗・施設実施事項

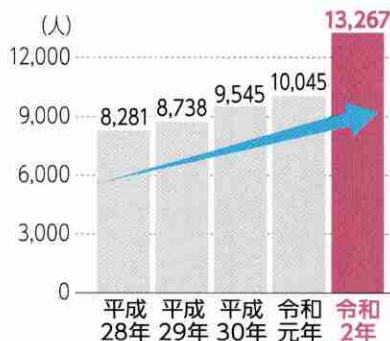
- 4S活動（整理、整頓、清掃、清潔）の徹底による転倒災害等の防止対策を実施していますか。
- 危険箇所の表示による危険の「見える化」を実施していますか。 など

### 本社・本部実施事項

- 全店舗・施設の労働災害の発生状況を把握し、分析を行っていますか。
- 企業・法人の経営トップの意向を踏まえた安全衛生方針を作成し、掲示や小冊子の配布などの方法により店舗・施設に周知していますか。 など

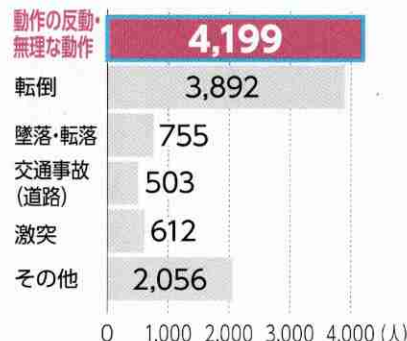
## 社会福祉施設の現状

労働災害の死傷者数は増加し続けています。



最も多い事故は

「動作の反動・無理な動作」です。死傷者の半数以上が



死傷者の半数以上が

50歳以上の方です。





社会福祉施設では、利用者に安全・安心・快適な生活環境を提供するために、まずは職員の安全や健康を保つことが大切です。特に腰に負担のかかる作業が多く、腰痛が発生しやすいため、予防対策が不可欠。多岐にわたる業務を、限られた人員で対応することが多い環境で安全衛生対策を進めるには、職員がそれぞれの持ち場・立場の任務と責務を明確にして、全員で取り組むことが効果的です。

どんな状況で災害が起きている？

## 社会福祉施設に潜む危険

### 転倒

の災害事例



利用者の部屋に入浴のための着替えを取りに駆け足で行ったところ、部屋の入り口付近の床が濡れていたため、足を滑らせて転倒した（35歳）。

▶ 休業  
3カ月

ナースコールが鳴ったため、利用者の部屋に走って行ったところ、段差を踏みはずしバランスを崩して、ひな壇につまずき転倒し、指を骨折した（67歳）。

▶ 休業  
1カ月

利用者に腕を持たせ、歩行運動をしていたところ、利用者が急に手を離しバランスを崩し、利用者の下敷きになり、右鎖骨を打ち骨折した（65歳）。

▶ 休業  
2カ月

### 腰痛

の災害事例



介護者の体位交換を行う際、無理な姿勢で対象者の身体を動かそうとしたため、腰を痛めた（37歳）。

▶ 休業  
12日

ベッドシーツの交換を行った際に腰を伸ばしたところ、バランスを崩し腰を痛めた（34歳）。

▶ 休業  
12日

入浴介助を行う際、車椅子に座った対象者の上半身を抱え上げたところ、腰を痛めた（30歳）。

▶ 休業  
4日

※休業日数については、状況差、個人差によって変動する場合がございます。

これらの危険を減らすためには？

社会福祉施設では、災害予防に関する正確な知識を持ち、適切な介護方法や福祉機器の使用方法を習得するための教育を行うことが必要です。そのために「どんな災害が起きているか」「どうしたら災害は防げるか」「正しい作業手順(マニュアル)はどのような内容か」などを従業員に伝えます。その上で、「整理」「整頓」「清掃」「清潔」を日常的に行う4S活動やKY(K危険・Y予知)活動、転倒・腰痛予防対策に取り組んでいくとよいでしょう。



# 安全で安心な店舗・施設づくり推進運動 キャッチフレーズ&キャラクター投票実施予定!

近日、SNSにて投票実施予定!

選ばれたキャッチフレーズ&キャラクターとともに、  
更に運動を推進していきます。



ポータルサイトオープン!  
労働災害を防ぐための  
様々な情報を公開中



安全で安心な  
店舗・施設づくり推進運動  
情報配信はこちらから!



ポータルサイト  
<https://anzenanshin.mhlw.go.jp>



Twitter  
@anzensuishin

## 社会福祉施設 の安全・安心を高めるための3つの活動。

### 1 労働災害の原因を取り除く「4S活動」

4Sは「整理」「整頓」「清掃」「清潔」をローマ字で表記したときの頭文字。

これらを日常的に行うのが4S活動です。労働災害防止だけでなく、作業の効率化にも効果があります。

整理	必要な物と不要な物に分けて、不要な物を処分することです。
整頓	必要な物をすぐ取り出せるように、分かりやすく安全な状態で配置することです。
清掃	作業する場所や身の回りのほか、廊下や共有スペースのゴミや汚れを取り除くことです。
清潔	職場や機械、用具などのゴミをきれいに取って清掃した状態を続けること、作業者自身も身体、服装、身の回りを汚れない状態にしておくことです。

### 2 潜んでいる危険を見つける「KY活動」

Kは「危険」、Yは「予知」の頭文字。ヒューマンエラーによる事故や災害を防止するため、仕事を始める前に「これは危ない」という危険な箇所について確認し合い、対策を決め、行動目標や指差し呼称項目を設定し、業務を進めます。

### 3 危険を共有する危険の「見える化」

職場の危険を従業員全員で共有するために可視化(=見える化)します。危険なポイントにステッカーなどを貼りつけ、注意を喚起します。墜落や転倒などのおそれのある箇所が分かれば慎重に行動することができます。

